ZERO
LANDSCAPE LIGHTING ZERO

施工・取扱説明書 保管用

品　番	LLP-7195LB·LLP-7195LU

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ
- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店·工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ
- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

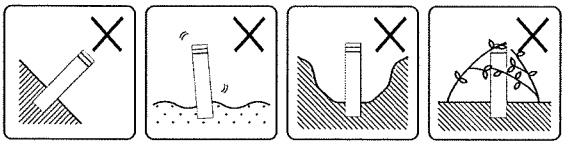
⚠ 警告 この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

⚠ 注意 この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

⚠ 警告

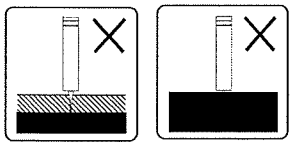
厳守

この器具は地面取付専用(固定・埋込兼用)です。
指定場所以外には取付けないでください。
火災·感電·転倒の原因となります。



水平以外の地面　やわらかい地面　冠水のおそれがある場所　草木で器具が覆われる場所

※スパイク仕様の場合には、下記の場所にも取付けないでください。



スパイクが最後まで差し込めない場所　コンクリートで固める場所

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。
施工に不備があると、火災·感電·落下·転倒等の原因となります。

この器具は防雨·防湿形器具です。
サウナ·温泉·業務用浴室では使用しないでください。
火災·感電の原因となります。

アース工事

アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行ってください。
アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

禁止

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。
器具の近くにストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。
火災·感電·落下·転倒等の原因となります。

分解禁止

器具の改造、部品の変更は行わない。
火災·感電·落下等の原因となります。

調光器との併用はできません。
火災の原因となります。
調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換が必要です。

厳守

煙·臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。
火災·感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

⚠ 注意

厳守

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。
一般の方の工事は法律で禁止されています。

- **照明器具には適正交換時期があります。**
  設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検·交換してください。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
  周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、適正交換時期が短くなります。
- **1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検をしてください。**
  「安全チェックシート」については弊社ホームページをご覧ください。
- **3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。**
  点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

DAIKO 大光電機株式会社　〒541－0043 大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F

施工説明 | 工事店様へ

●施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は必ずお客様にお渡しください。

仕様

●屋外専用(防雨･防湿形、重耐塩仕様)
●地面取付専用(固定・埋込兼用)
●異常温度防止機能付
●調光不可
●送り配線不可
●LEDユニットは交換不可
●単体での使用不可。適合ポール専用

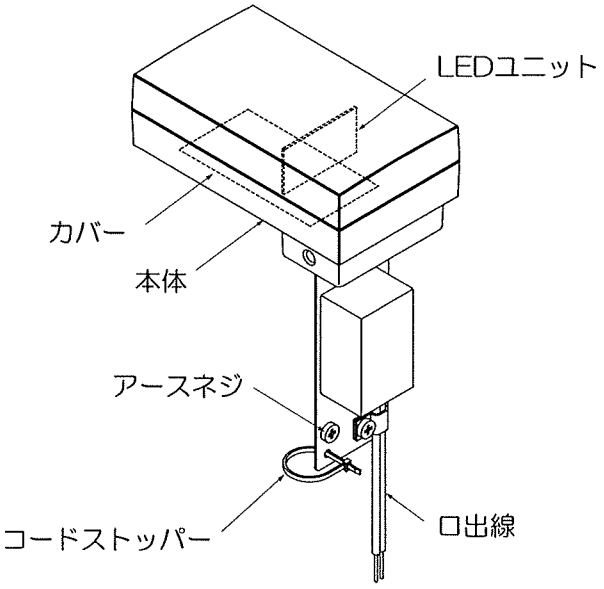
品番	LLP-7195LB	LLP-7195LU
定格電圧	交流　100V	
周波数	50/60Hz兼用	
定格消費電力	6.4W	
入力電流	0.12A	
LEDユニット	演色性　Ra83 電球色(2700K)	
	光束維持時間：40,000時間	
器具質量	約0.6kg	
電源接続	口出線	

●LEDの光束維持時間は、40000時間です。（LEDが点灯しなくなるまでの総点灯時間または、器具光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。LED照明器具の保証期間ではありません。）

適合部品(別売)	品番
ポール	LLA-7196U・LLA-7196B・LLA-7197U・LLA-7197B LLA-7198U・LLA-7198B LLA-7240U・LLA-7240B・LLA-7241U・LLA-7241B

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



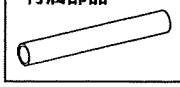
付属部品

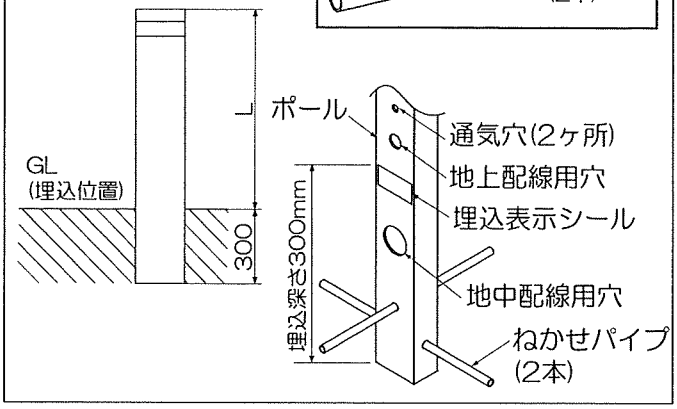
	本体取付ネジ(2本)
	六角レンチ(呼び2.0)

埋込固定用(別売)		
	L=450	L=650
品番	LLA-7197B LLA-7197U	LLA-7198B LLA-7198U

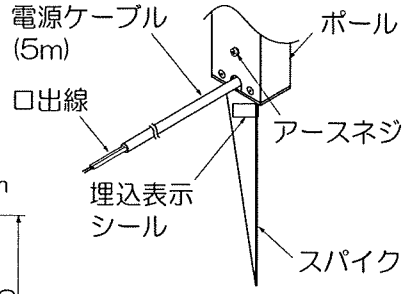
取付寸法 単位：mm

付属部品

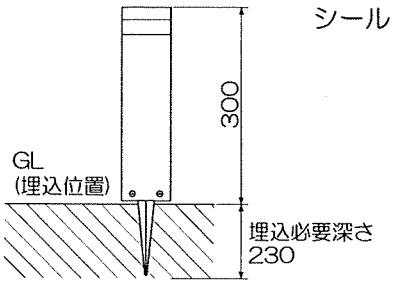




スパイク固定用(別売)	
品番	LLA-7196B LLA-7196U



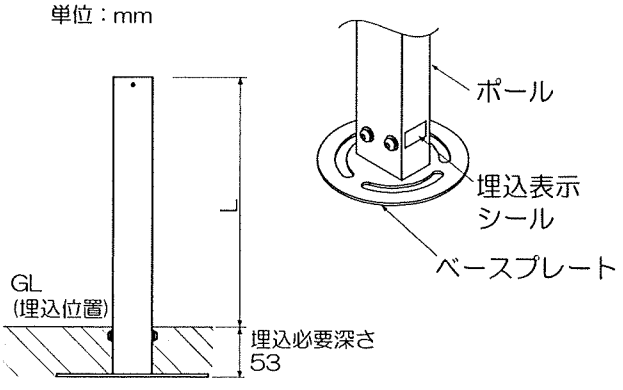
取付寸法 単位：mm



ベースプレート用(別売)		
	L=450	L=650
品番	LLA-7240B LLA-7240U	LLA-7241B LLA-7241U

取付寸法

単位：mm



埋込固定用ポール(別売)に取付ける場合

❶ 取付け前の注意事項について

- ●施工に関しては、電気設備技術基準、内線規程に従ってください。
- ●地上配線する場合は、地上配線用穴からキャブタイヤケーブル等で配線してください。
- ●地中配線する場合は、地中配線用穴までケーブルを保護管等で保護して配線してください。

※キャブタイヤケーブル、ケーブル、保護管は器具には付属していません。別途ご用意ください。
2.0sq以下の3芯キャブタイヤケーブルをご使用ください。

- ●必ず排水処理を行ってください。
- ●埋込固定用ポールは、下地のしっかりした場所、水はけのよい場所に施工してください。

⚠ 警 告

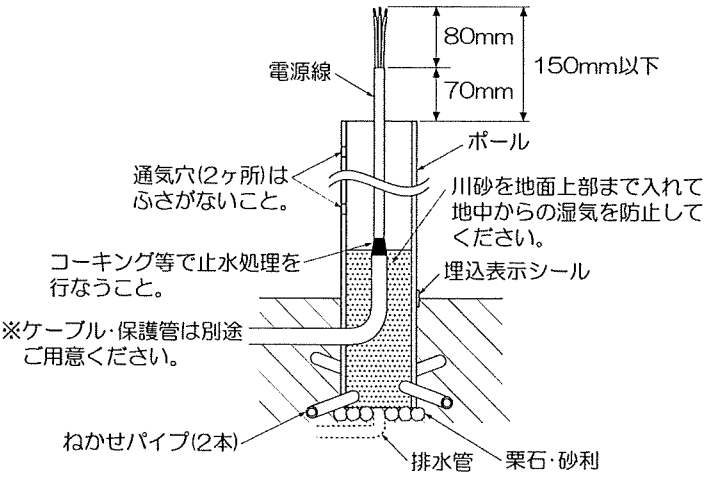
以下の場所には施工しないでください。
絶縁不良・転倒の原因となります。
・水平以外の場所　・下地のやわらかい場所
・冠水のおそれがある場所　・草木で器具が覆われる場所

❷ ポールを埋込む

- ●ポールにねかせパイプ(2本)を通してください。
- ●電源線はポールの地上配線用穴または地中配線用穴に通し、ポール上部より出してください。(150mm以下)
- ●照射方向を確認し、ポールを垂直に埋込表示シールまで埋込んでください。

※通気穴(2ヶ所)は埋込まないでください。

※ポール内に水がたまらないよう充分な排水処理を行ってください。



⚠ 警 告

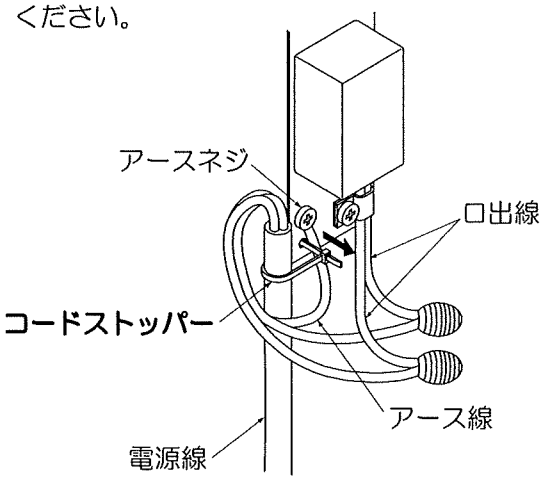
埋込みが不完全な場合、絶縁不良・転倒の原因となります。

③ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

●電源線をコードストッパーに通し、電源線と口出線をスリーブ等で確実に接続し、絶縁テープ、自己融着テープを使用し、十分に絶縁･防水処理を行ってください。

●アースネジを使用し、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。

●結線後、コードストッパーを締め、電源線を固定してください。



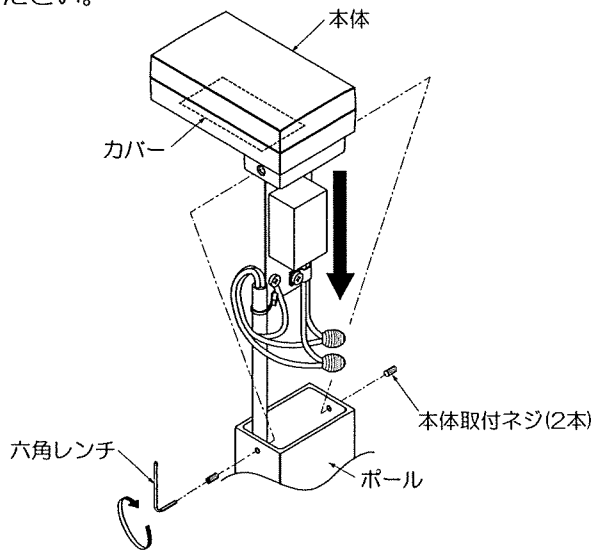
⚠ 警 告
結線後、絶縁･防水処理を確実に行ってください。 処理が不完全な場合、 火災･感電･絶縁不良･漏電の原因となります。
定格以外の電圧では使用しないでください。 火災･感電の原因となります。
アース線接続が不完全な場合、感電のおそれがあります。

④ 本体を取付ける

●本体をポールに差し込み、本体取付ネジ(2本)を六角レンチで確実に締め付け固定してください。

※電源線の反発により本体が入りにくい場合があります。

※カバーにひび･割れ･欠け等の異常がないか確認してください。



⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、 落下･絶縁不良･漏電の原因となります。

スパイク固定用ポール(別売)に取付ける場合

① 取付け前の注意事項について

●水平な場所に設置してください。
決して、冠水のおそれや傾斜のある場所には設置しないでください。
水がたまったり、器具が倒れるおそれがあります。

●荷重のかかる場所(車両が通行するような場所等)にケーブルを敷設しないでください。

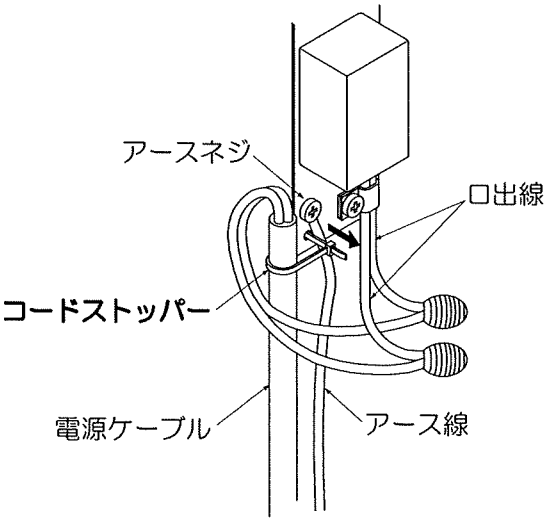
※スパイク固定用ポールに接続するアース線は器具には付属していません。別途ご用意ください。

② 電源ケーブルを接続する(作業前、必ず電源を切る)

●電源ケーブルをコードストッパーに通し、電源ケーブルと口出線をスリーブ等で確実に接続し、絶縁テープ、自己融着テープを使用し、十分に絶縁･防水処理を行ってください。

●アース線を本体のアースネジを使用し、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。

●結線後、コードストッパーを締め、電源ケーブルを固定してください。



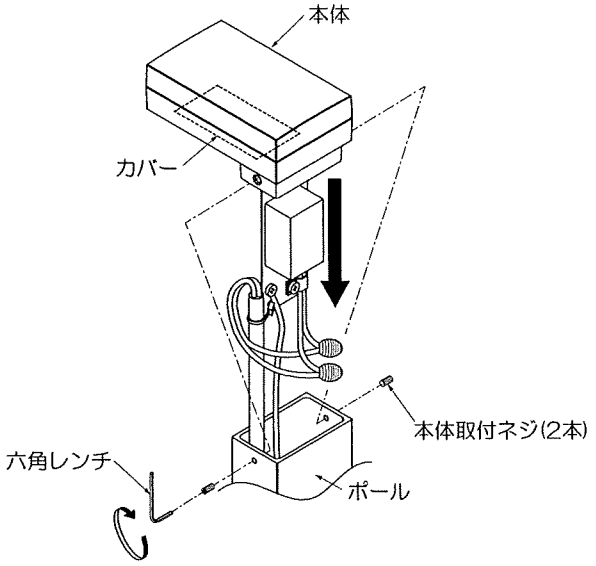
⚠ 警 告
結線後、絶縁･防水処理を確実に行ってください。 処理が不完全な場合、 火災･感電･絶縁不良･漏電の原因となります。
定格以外の電圧では使用しないでください。 火災･感電の原因となります。
アース線接続が不完全な場合、感電のおそれがあります。

❸ 本体を取付ける

●本体をポールに差し込み、本体取付ネジ(2本)を六角レンチで確実に締め付け固定してください。

※電源線の反発により本体が入りにくい場合があります。

※カバーにひび·割れ·欠け等の異常がないか確認してください。



⚠ 警 告

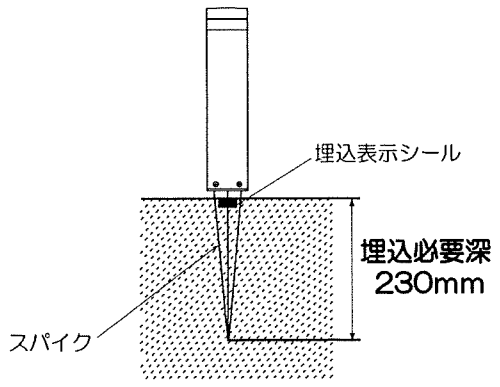
取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下·絶縁不良·漏電の原因となります。

❹ スパイクを取付ける

●地面のしっかりした場所を選んで、スパイクの埋込表示シールまで垂直に差し込み、確実に固定してください。

※地面が固い場合は、スコップ等で先に地面を堀り起こしてから押し込んでください。

※砂利がある場合は除去してください。



⚠ 警 告

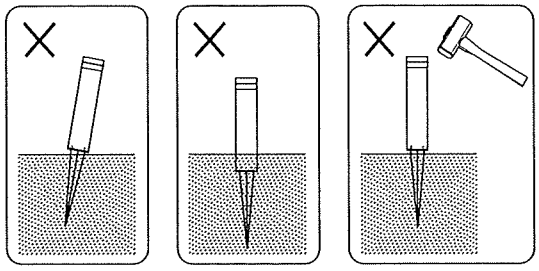
取付けが不完全な場合、絶縁不良·転倒の原因となります。

⚠ 警 告

●垂直以外の施工は行わないでください。
埋込深さは指定寸法を確保してください。
転倒による感電·けが·破損の原因となります

●埋込表示シールを超えて器具を埋込まないでください。
防水機能が損なわれ、絶縁不良·漏電の原因となります。

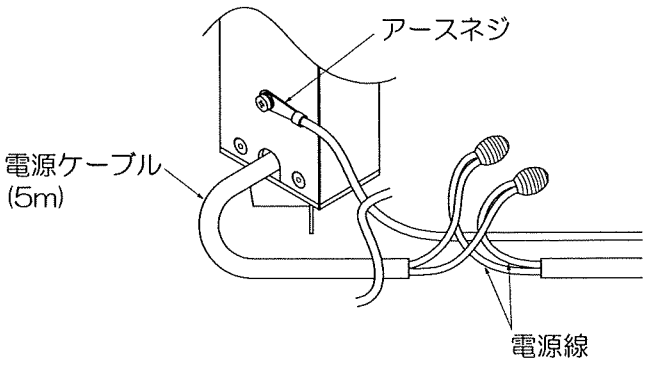
●器具をハンマー·工具等でたたかないでください。
故障·破損の原因となります。



❺ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

●電源線と電源ケーブルをスリーブ等で確実に接続し、絶縁テープ、自己融着テープを使用し、十分に絶縁·防水処理を行ってください。

●スパイク固定用ポールのアースネジを使用し、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。



⚠ 警 告

結線後、絶縁·防水処理を確実に行ってください。
処理が不完全な場合、
火災·感電·絶縁不良·漏電の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。
火災·感電の原因となります。

アース線接続が不完全な場合、感電のおそれがあります。

ベースプレート(別売)に取付ける場合

① 取付け前の注意事項について

●施工に関しては、電気設備技術基準、内線規程に従ってください。

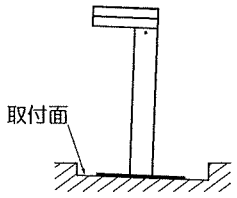
※キャブタイヤケーブル、ケーブル、器具には付属していません。別途ご用意ください。
2.0sq以下の3芯キャブタイヤケーブルをご使用ください。

※ボルト、ナット、ワッシャ、スプリングワッシャは器具には付属していません。別途ご用意ください。

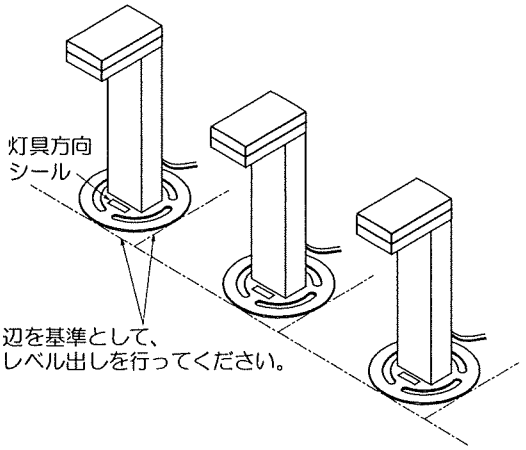
●ベースプレートは、下地のしっかりした場所、水はけのよい場所に施工してください。

⚠ 警告
以下の場所には施工しないでください。 絶縁不良・転倒の原因となります。 ・水平以外の場所　・下地のやわらかい場所 ・冠水のおそれがある場所　・草木で器具が覆われる場所

●ベースプレートの取付面は、水平・平滑に仕上げてください。
下図のように器具が傾く原因となります。



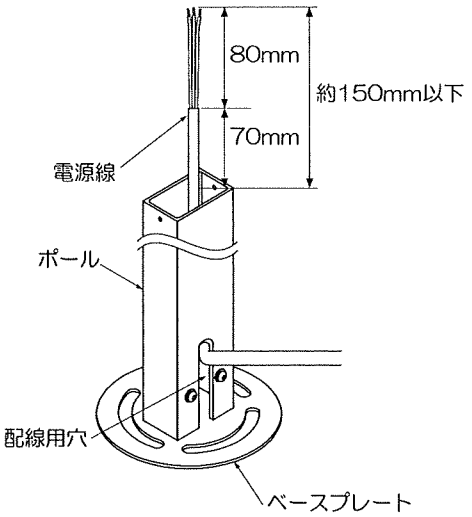
●器具を複数台設置する場合は、ベースプレートの辺を基準にレベル出しを行い、灯具方向シールの向きを合わせて設置してください。



⚠ 注意
取付面が水平・平滑で無い場合、傾きの原因となります。
レベル出しが不完全な場合、 設置方向のバラツキの原因となります。

② 電源線を通す

●電源線はポールの配線用穴に通し、ポール上部より出してください。(150mm以下)

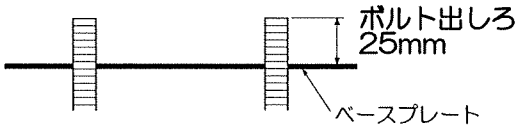


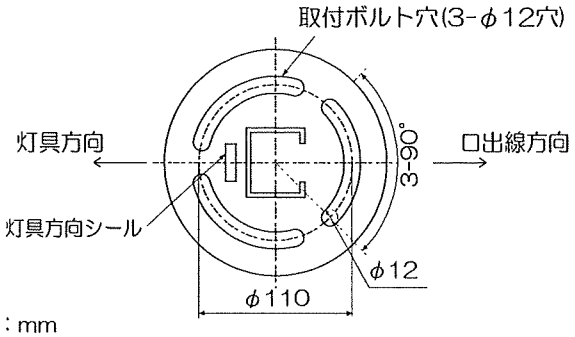
③ 取付面を確認する

●取付スペースと埋込深さを確認してください。
(埋込深さは53mmです。)

●ボルトを設置してください。

※ボルトはベースプレートに付属していません。M10のものを別途ご用意ください。





単位：mm

⚠ 警告
指定寸法以外の地中には取付けないでください。 傾きの原因となります。

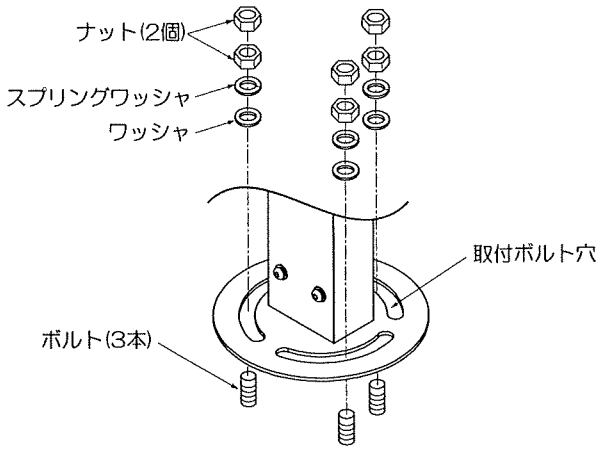
④ ベースプレートを設置する

●ボルト(3本)に取付ボルト穴を合わせてセットし、埋込表示シールまで埋まるように垂直にレベル調整してください。

●レベル調整後、それぞれにワッシャ(1枚)、スプリングワッシャ(1枚)、ナット(2個)で確実に締め付け固定してください。

※ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットは器具には付属していません。ボルトに合わせてM10のものを別途ご用意ください。

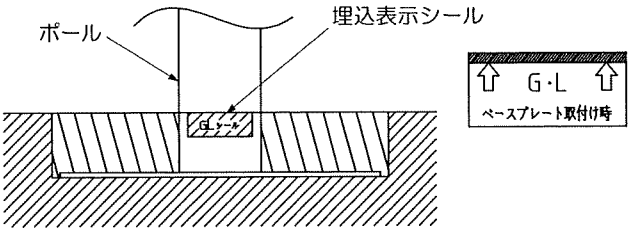
※ポールが正面を向いていない場合はベースプレートを回して調整してください。



⚠ 警告
取付けが不完全な場合、絶縁不良・傾きの原因となります。

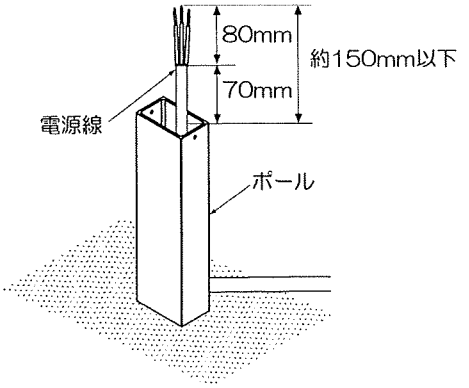
⑤ ポールを埋込む

●埋込表示シールまでポールを埋込んでください。



⑥ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

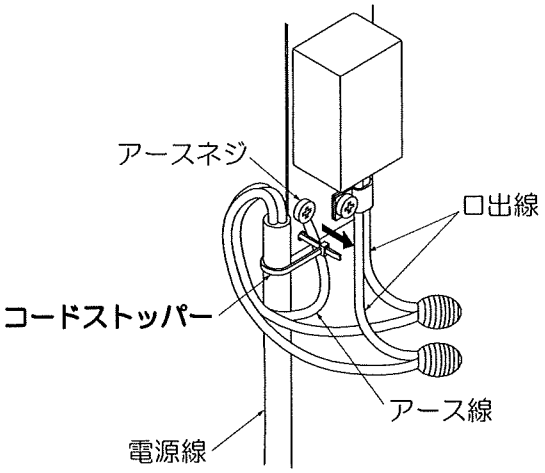
●ポールからの電源線の寸法を確認してください。



●電源線を本体のコードストッパーに通し、電源線と口出線をスリーブ等で確実に接続し、絶縁テープ、自己融着テープを使用し、十分に絶縁・防水処理を行ってください。

●アースネジを使用し、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。

●結線後、コードストッパーを締め、電源線を固定してください。



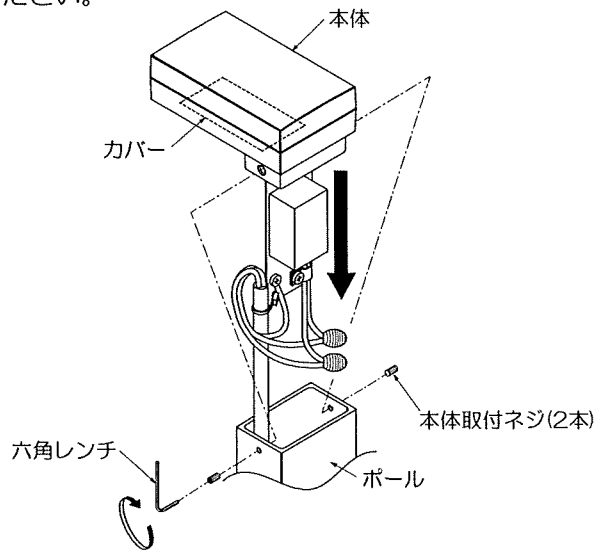
⚠ 警告
結線後、絶縁・防水処理を確実に行ってください。 処理が不完全な場合、 火災・感電・絶縁不良・漏電の原因となります。
定格以外の電圧では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
アース線接続が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⑦ 本体を取付ける

●本体をポールに差し込み、本体取付ネジ(2本)を六角レンチで確実に締め付け固定してください。

※電源線の反発により本体が入りにくい場合があります。

※カバーにひび・割れ・欠け等の異常がないか確認してください。



⚠ 警告
取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、 落下・絶縁不良・漏電の原因となります。

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用に関して

〔周囲の影響〕

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

●ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。

●リモコン機器(シャッター等)のリモコンが動作しにくくなる。

●トランシーバやラジコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。

〔ご注意〕

●器具に殺虫剤等をかけないでください。変質·変色の原因となります。

⚠ 警 告

LEDを直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

保証について

1．保証について
この商品の保証期間は3年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

・LEDが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・地面との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃（安全のため、電源を切ってから行ってください。）
器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。

・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
・シンナー、ベンジン等の揮発性のものは使用しないでください。

2．異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター（0570）003-937（ナビダイヤル 全国共通）へご連絡ください。
受付時間(月～金曜)9：00～17：00　土·日·祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。